

Article 表紙解説

—越島 はぐ—

Cover Comment: HAGU KOSHIJIMA

三宅 陽一郎
Youichiro Miyake

株式会社スクウェア・エニックス
SQUARE ENIX CO., LTD.
y.m.4160@gmail.com

Keywords: art, brain, neuron.



図1 11月号表紙
作画：越島はぐ

1. はじめに

今年から毎号、人工知能にちなんだイラストをそろえることで、多彩な表紙を楽しんでいただく企画を開催してきました。本年最後となる11月号の表紙は、その絵から清々しい空気感まで伝わってくる美しいイラストレーションで人気の「越島はぐ」さんをお迎えして、特集テーマ「脳科学と人工知能のフロンティア」に沿って描いていただきました。越島さんからコメントをいただいています。

「仮想世界に存在する動物や少女の周りを、ニューロン間の電気のような光が弾けているイメージです。」

2. 解説

とても奥深い絵ですので、見る方それぞれの見方があって当然良いと思いますが、著者なりの見方をここに記しておきます。

キャラクターの顔はあえて描き込まず、素朴な印象が出るようにシンプルに描かれています。世界の中に立つ、一人の少女の真摯な姿と内面の世界が表現されています。その内面はどこまでも透明で、絵の中かしんとした静けささえ伝わってきます。遠景の雲と光は、一人の少女が向かい合う、混沌とした外部世界を表しているようです。差し込む光は、来るべき希望や展望、インスピレーションのように見て取れます。そして、周りに配置されている動物達は、少女の知能の中で認識されている動物達のイメージを表しています。それは現実の影であり、影の色を基調として、脳内のニューロンのスパークによって彩られています。対象の姿もあえて描き込まず、素朴な印象に留めることで、内面の認識空間が見るものに深淵な迫力をもって迫ってきます。水平線は光と溶け合っており、ぼんやり

と背景にあります。それは床面が表している認識空間と、雲の向こうの現実の空間がどこかでぼんやりと接していることを表現しているようです。全体として見事に少女の内面世界が描かれています。

2017年10月10日 受理

—— 著者紹介 ——



三宅 陽一郎 (正会員)

株式会社スクウェア・エニックステクノロジー推進部リードAIリサーチャー。今年は人工知能学会誌編集委員として本誌の表紙を担当する。日本デジタルゲーム学会理事、芸術科学会理事、国際ゲーム開発者協会日本ゲームAI専門部会代表。

事、芸術科学会理事、国際ゲーム開発者協会日本ゲームAI専門部会代表。